

災害に対する大学の取り組み

—日本赤十字豊田看護大学—

西日本豪雨災害が甚大な被害をもたらすなど、災害への備えは緊急かつ重要な課題となっています。このようなことから個人が被害の状況をとらえ、避難や人命救助などを判断し行動することが求められます。そのため、発災時の避難・救護活動に必要な知識・技術を高めるために、2018年より教職員を対象に年4回の防災研修を実施しました。研修を通して、学内の教職員が協働して避難や救護活動ができることを目指しています。

傷病者を搬送する

発災時に傷病者を適切な方法で搬送できる
START トリアージを理解できる



担架での搬送1

傷を処置する

発災時に被災者が負った傷に適切な方法で応急処置ができる



担架での搬送2



三角巾（上腕）

避難生活を安全に過ごす

避難所における安全な共同生活について課題を考えることができる



三角巾（頭部）

避難をする：机上訓練

発災時の対応を体験し、各役割における具体的な行動を検討し、課題を考えることができる



講義 スフィアプロジェクト



演習 避難所におけるMIL問題